

話題を呼んだ。報道でも言わわれているように、美星町が一時的な P R 用でなく、適切な運用をされ、全国の自治体等の光害問題や、それに伴う環境問題に関しての先導的な役割を果たされることを、美星で星を観てきた一人として期待したい。

『美しい星空を守る美星町光害防止条例』

の要旨

前文 美星町には、流れ星の伝説と、その名にふさわしい美しい星空がある。(中略) 夜空の宝石ともいえる星雲や星団は、何千年、何万年以上もかかってその姿を地上に届けている。これらの宇宙の神秘をかいしま見ることができる環境は、町民のみならず全人類にとってかけがえのない財産である。

しかし、宇宙は今、光害によってさえぎられ、視界から遠がかって行こうとしている。人工光による光害の影響は、半径 100 km にも及び、人々から星空の美と神秘に触れる機会を奪うだけでなく、過剰な照明は資源エネルギーの浪費を伴い、そのことが地球をとりまく環境にも影響を与えている。また、過剰な照明により、夜の安全を守るという照明本来の目的に反するのみならず、動植物の生態系にも悪影響を与えることも指摘されている。(中略) 町の周辺は天体観測に最も適した環境にあり、町はこれまで『星の郷づくり』に取り組んできた。そして、今後多くの人々がそれぞれに感動をもって遙かなる星空に親しむよう宇宙探索の機会と交流の場を提供することが町及び町民へ与えられた使命と考える。このため、わが美星町民は、町の名に象徴される美しい星空を誇りとして、これを守る権利を有し、義務を負うことここに宣言し、全国に先がけてこの条例を制定する。

●目的——光害の防止と適正な照明について、町、町民、事業者の責務を明らかにし、生活に必要な照明を確保しながら、光害から美しい星空を守ることを目的とする。

●目標——国際天文学連合の勧告にならない、人工光による夜空の明るさの増加の程度が、自然の状態の夜空の明るさの 1 割を越えないようにすることを目標とする。

●それぞれの責務——町は、教育活動、広報活動を通じて光害についての普及をはかるとともに光害防止について技術指導、施設の整備などの援助をおこなう。町民及び事業者は、光害の防止に努めるとともに、町が実施する光害の防止に協力しなければならない。

●光害防止モデル地区——町長は、天体観測施設を中心に、特に光害を防止する必要があると認める地域を「光害防止モデル地区」として指定することができる。

●屋外照明の遮光——水平以上に光がもれないようにする。建築物、看板等を照明する場合は下から上へ投光しない。

●屋外での投光機の使用——サーチライト、レーザー等

の使用は水平以上に向けることを禁止する。

●屋外照明の光源——屋外照明は、天体観測に障害の少ない低圧ナトリウム灯を奨励する。照明は、必要最小限の光量とする。

●屋内照明の遮光——大量の光を使用する事業所はブライアンド等で遮光する。

●消灯の奨励——保安灯等必要なものを除き、午後10時以降は消灯することを奨励する。

●天体観測への協力——学術的に重要な天体観測がおこなわれる場合、照明の自肃など必要な協力を求めることができる。

●光害防止対策費用の補助——光害防止のために必要な対策をおこなう場合、必要な経費の 3 分の 2 以内を補助する。

●改善命令——町長は、配光基準に適合しない照明を行っている者に対し、期限を定めて改善措置を命ぜることができる。

尚、この条例についての御問合せは下記へ。

〒714-14 岡山県小田郡美星町三山 1055 番地

美星町役場地域振興室 (Tel. 08668-7-3111)

お知らせ

赤外線観測衛星計画について

今年 5 月京都で開催される春季年会期間の、第 3 日目午前の講演終了後、「ISO (Infrared Space Observatory by ESA) 計画の説明会」を行ないます。約 1 時間の予定です。会場等は当日にアナウンスしますので、興味のあるかたの御参集をお願いします。(奥田治之・宇宙研)

JNLT のシンボルマーク公募

JNLT 準備室では JNLT ニュース(仮称)及び JNLT Technical Report の創刊・発行を企画しております。

つきましては、これらの印刷物に使用する JNLT のシンボルマーク(ロゴ)を皆様のアイデアをお借りして決めたいと考えております。下記の要領にて奮って応募して下さるようお願い致します。

締め切り：平成 2 年 5 月 21 日

宛て先：〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 磯部良子宛

採用決定：国立天文台 JNLT ワーキンググループなどにて応募作を検討の上、準備室にて採用マークを決定します。ただし、この時点で応募作を参考にした新しいデザインのものにする可能性を除外しません。採用作は JNLT ニュース創刊号が発表します。意匠権は JNLT 準備室のものとさせて戴きます。一人で何作でも応募して下さって結構です。JNLT 準備室 (家 正則)